

目次

1. 展示活動	
企画展	2
特別企画展	6
常設展	12
きせつ展示	14
2. 講座・講演	15
3. 利用状況	16
4. 寄贈資料・図書	18
5. 資料特別利用	19
6. 展示・講座等への協力	19
7. 資料保存・修復	19
8. 博物館実習	20
9. 広報・普及活動	22
10. 東京家政大学博物館友の会(博友会)	22
11. 博物館運営委員会	22
12. 博物館職員	22
	* * *
調査研究報告	23

1. 展示活動

企画展「こどもの衣・食・遊—日々の愉しみと祝い—」

会 期 平成30年5月17日(木)～6月20日(水)

会 場 百周年記念館5階 第1展示室

入館者数 3,551名(31日間)

広 報 物 ポスター、チラシ

配布資料 展示品目録(全4頁)、関連情報目録(東京家政大学図書館作成：全2頁)

展示趣旨 誰もが過ごしたこどもの時。七五三やお祭り、学校給食などの懐かしい思い出は、ひとりひとりにあるのではないだろうか。本展では、主に明治時代から現在における「こども」の日々を展覧した。普段の着物や七五三で着るような晴着などの「衣」。学校給食やお祝い膳などの「食」。そして玩具や絵本など、こどもの時ならではの「遊」。それらこどもを取り巻く世界には、時代を越えても変わらないこどもへの想いが込められている。

また、東京家政大学はこどもとのつながりが深い大学でもある。こどもの成長と教育に力を注いでいる本学の取り組みについても併せて紹介した。

関連事業 ワークショップ「和綴じノートを作ろう」

日 時：①6月2日(土) ②6月7日(木) 13:00～15:00

会 場：百周年記念館4階 共同グループ実習室A

参加人数：①22名 ②20名

内 容：明治時代の教科書にも用いられた「和綴じ」の製本方法でノートを作る

ギャラリートーク(当館学芸員による展示品解説)

日 時：5月24日(木)～5月26日(土)

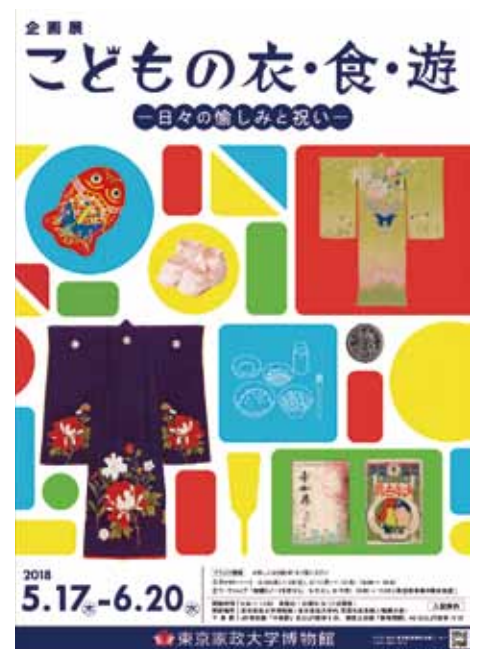
6月11日(月)～13日(水)

15:00～15:40

参加人数：72名(6日間計)

5月24日(木)13名、25日(金)10名、26日(土)14名

6月11日(月)12名、12日(火)9名、13日(水)14名



ポスター



ワークショップ



ギャラリートーク

まとめ 本展では主に誕生してから7歳までのこどもにおける「ハレ」と「ケ」について総合的に取り上げた。学校給食や七五三など、誰にとっても身近な物事の展示は、どの年齢層の来館者にも好評を得た。

なお、当館の春の企画展は新生児が来館することが多い。様々な分野を専攻している学生たちが、展示室で自分の専攻につながることを見つけ出し、興味を持ってもらいたいという期待から、展示内容は「衣」「食」「遊(住)」のバランスに留意し、さらに宮参りや七五三などの着物を着装させるといった立体的な展示手法を試みた。結果、本学の教員や学生の反応も良く、授業の一環としての見学も多くあった。

以下に来館者アンケートからの抜粋を紹介する。

[一般]

*2歳の娘を連れてきたので、おもちゃの展示はとてもよかったです。(20代・女性)

*各項目コンパクトに、全体として網羅的にまとまっていて、説明文も多すぎず文字も大きくて読みやすく、実資料が豊富で分かりやすく、充実した内容であったと思います。(40代・女性)

*背守りや肩揚げ腰揚げなど言葉は知っていたのですが、展示を見て理解できました。(50代・男性)

*当大学の博物館をポスターではじめて知り伺いました。よくある博物館と違い、リアルに時代をかんじる展示物が多くとても感動しました。(60代・女性)

*派手な展示でなく研究機関らしいとりあげ方がかえって面白く、色々考えるきっかけとなります。(70代以上・女性)

[本学学生・生徒]

*「博物館」ということで少しかたいのかな?と思っていたが、とても面白くてまた来たいと思った。(中学2年)

*前回、前々回も授業の一環で見に来たが、今まで見た中で一番おもしろく興味深い企画展だった。(高校2年)

*私は栄養学科専攻なので、あまり関係ないと思っていたが、自分が家庭を持った時に伝統に即した祝い事を子どもにさせてあげたいと思った。(大学1年)

*文や写真だけでなく、立体展示物がたくさんあったので見て楽しかった。(大学3年)

*教職課程を履修していることもあり、明治時代の教科書を見ることができたので、勉強になった。(大学4年)



会場入口と①ケース



宮参りの展示



保育指導書と小学校教科書の展示



学校給食献立レプリカ

東京都学校給食会蔵

1. 展示活動

展示品目録

資料名	使用・製作年	備考
*備考欄に所蔵表記のないものは、すべて東京家政大学博物館蔵		
①ケース		
『女諸禮集大全』 卷之三	1755(宝暦5)年	北尾辰宣著
腹帯		
犬張子		
母子手帳、母子健康手帳		個人蔵
交付中の母子健康手帳		板橋区役所蔵
マスコットシューズ	1960(昭和35)年頃	
②ケース		
宮参り着装		
『女諸禮集大全』 卷之三	1755(宝暦5)年頃	北尾辰宣編・画
縮緬地菊尽くし模様一ツ身	1952(昭和27)年	
③ケース		
お食い初め祝い膳		
『小笠原諸礼大全』 下巻	1809(文化6)年	法橋玉山著、石玉峯画
一升餅		
『東京風俗志』 下巻	1902(明治35)年	平出鏗二郎著、富山房発行
④ケース		
『ははのつとめ』 親の巻 子の巻	1892(明治25)年	三島通良著、丸善発行
『出産から入学までの育児法』(『主婦之友』15巻2号附録)	1931(昭和6)年	主婦之友社発行
『赤ちゃん百科』 育て方・育児・きもの・妊産婦篇(『婦人倶楽部』41巻3号附録)	1960(昭和35)年	講談社発行
『赤ちゃん百科事典』(『主婦之友』37巻9号附録)	1953(昭和28)年	主婦之友社発行
おむつカバー(指導用に制作)	1955(昭和30)年頃	
和式おむつ、洋式おむつ(指導用に制作)	1955(昭和30)年	
『赤ちゃんのきもの』	1953(昭和28)年	主婦之友編、主婦之友社発行
『家事新教科書』 下	1932(昭和7)年	石澤吉麿著、集成堂発行
『赤ちゃんの育て方』(『婦人生活』13巻1号附録)	1959(昭和34)年	同志社発行
家族でお出かけ着装		シャツ、ループタイ：個人蔵
⑤ケース		
『少女界』 1巻1号、2巻5号	1902(明治35)年、1903(明治36)年	金港堂発行
『少年世界』 16巻13号、18巻1号	1910(明治43)年、1911(明治44)年	博文館発行
『少年画報』 4巻5号	1915(大正4)年	東京社発行、東京家政大学図書館蔵
『少女倶楽部』 9巻3号	1931(昭和6)年	大日本雄辯會講談社発行、東京家政大学図書館蔵
⑥ケース		
紙芝居『神風ガム』、紙芝居舞台	1926~1964(昭和元~39)年頃	
紙芝居『オ山ノナカヨシ』、紙芝居舞台	1926~1945年(昭和時代前期)頃	紙芝居：松葉重庸作
紙芝居『聖徳太子さま』	1937(昭和12)年	全甲社発行
紙芝居『蓮如さま』	1937(昭和12)年	法蔵館発行
紙芝居『かくや姫』	1926~1989年(昭和時代)	
紙芝居『イモタラウバンザイ』	1945(昭和20)年	松葉重庸作、黒崎義介画
⑦ケース		
蚊帳		
⑧ケース		
『赤い鳥』 4巻1号、4巻2号、4巻3号、4巻4号	1920(大正9)年	赤い鳥社発行
『金の船』 4巻4号、4巻5号	1922(大正11)年	キンノツノ社発行
『金の星』 4巻6号、4巻7号		金の船社発行
⑨ケース		
竹とんぼ		
塗り絵		
石版・石筆		
羽子板		
ブリキの金魚浮かし		
アイスクリームボールガン		
けん玉		
コリントゲーム		
ベーゴマ		
コマ		

1. 展示活動

資料名	使用・製作年	備考
ブリキのミニカー		
おはじき		
積木		
⑩ケース		
着物、エプロン	着物：1945～1989年(昭和時代後期)頃 エプロン：1918(大正7)年制作	
男児学生服	1939(昭和14)年	
オーバーコート	1930～1935(昭和5～10)年頃	
『幼稚園』 巻之下	1876(明治9)年	桑田親五訳、文部省発行
『幼稚園法二十遊嬉』	1879(明治12)年	関信三編、青山堂発行
『幼稚園唱歌集』	1887(明治20)年	文部省音楽取調掛編、東京音楽学校発行
『尋常小學修身書』 生徒用	1892(明治25)年	能勢榮著、金港堂書籍會社発行
『小学修身経』 尋常科生徒用	1894(明治27)年	天野為之編、富山書店発行
『小學地理書』 卷三	1901(明治34)年	育英舎編輯所編纂、阪上半七発行
『小學國史』 卷一	1900(明治33)年	普及舎編輯所編、普及舎発行
『小學唱歌集』 初編	1889(明治22)年	文部省音楽取調掛編、高等師範學校附属音楽学校発行
『小學算術書』 卷一、卷二	1873(明治6)年	師範学校編、文部省発行
『しょうがくせいのおさんすう』 一ねん	1952(昭和27)年	新教科書研究会算数委員会著、新興出版社・啓林館発行
『小がくせいのおさんすう』 二年上		
『小學畫學書』	1873(明治6)年	山岡成章画、文部省編、文部省文書局発行
『小学造形』 4年、6年	1954(昭和29)年	日本造形教育研究会著、修文館発行
⑪ケース		
1899(明治22)年の学校給食献立レプリカ		東京都学校給食会蔵
1942(昭和17)年の学校給食献立レプリカ		東京都学校給食会蔵
1947(昭和22)年の学校給食献立レプリカ		東京都学校給食会蔵
1952(昭和27)年の学校給食献立レプリカ		東京都学校給食会蔵
1965(昭和40)年の学校給食献立レプリカ		東京都学校給食会蔵
東京都内の地場産物を活用した献立の学校給食レプリカ		東京都学校給食会蔵
⑫ケース		
七五三着装		スーツ一式：個人蔵
⑬ケース		
『子供物から大人物まで和服物一切の仕立方』	1932(昭和7)年	主婦之友社編、主婦之友社発行
『東京風俗志』 中巻	1902(明治35)年	平出鏗二郎著、富山房発行
『風俗画報』 102号	1895(明治28)年	野口勝一編、東陽堂発行
⑭ケース		
七五三用晴着 海軍将校制服	1938～1939(昭和13～14)年	
平絹地梅樹蘭菊桜草模様一ツ身(祝着)	1868～1900年(明治時代前中期)頃	
平絹地松鶴模様一ツ身(祝着)	1868～1900年(明治時代前中期)頃	
縮緬地洋花蝶模様一ツ身(祝着)	1912～1945年(大正時代～昭和時代前期)頃	
縮緬地菊牡丹桔梗模様一ツ身	1900～1912年(明治時代後期)頃	
縮緬地青海波に花丸紋模様四ツ身(祝着)	1945～1964(昭和20～39)年頃	
⑮ケース		
上巳の節句飾り		
端午の節句飾り		
⑯ケース		
『千代田之大奥』 雛拝見	1896(明治29)年	楊洲周延画
『江戸歳事記』 卷之二夏之部	1838(天保9)年	斎藤幸成編纂、須原屋伊八発行
『江戸風俗年中行事』	1890(明治23)年	東陽堂発行
⑰ケース		
学生制作 玩具		『おでかけしよう』以外：森のサロン蔵
⑱ケース		
附属みどりヶ丘幼稚園 園児服	昭和28年頃、～平成24年度、平成24年度～	現在使用中：東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園蔵
附属みどりヶ丘幼稚園 園児用椅子	昭和28年頃、現在使用中	現在使用中：東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園蔵
⑲ケース		
森のサロン オリジナル玩具	現在使用中	森のサロン蔵

1. 展示活動

特別企画展「和装モダン」

会 期 平成30年10月18日(木)～11月22日(木)

会 場 百周年記念館5階 第1展示室

入館者数 4,484名(30日間)

出版 物 図録『和装モダン』(カラー20頁)

広 報 物 ポスター、チラシ

配布資料 展示品目録(全4頁)、関連情報目録(東京家政大学図書館作成：全2頁)

展示趣旨 大正時代になり実用的な洋服が紹介されるようになってもお、多くの女性たちは普段着にも晴れの日の装いにも慣れ親しんだ着物を選んでいた。

本展では、当館所蔵の「河野忠代コレクション」の中から大正から昭和時代前期までの和装を、またコラム展示「ある卒業生のワードローブ」では、昭和時代前期の本学卒業生が着用した和装資料も展示した。堅苦しい、難しいと捉えられがちな現在の和装とは異なる、遊び心あふれる華やかでモダンな和の装いが感じられる展示を目指した。

関連事業 講演会「蓄音器で聴く大正・昭和」

日 時：11月17日(土) 14:30～16:30(開場14:00)

会 場：百周年記念館4階 中会議室

講 師：郡 修彦氏(郡音楽事務所代表・音楽史研究家)

参加人数：42名

内 容：郡氏の解説を聴きながら、ラップ式蓄音器とポータブル蓄音器をもちいて大正・昭和時代のレコードを鑑賞した。

ギャラリートーク(当館学芸員による展示室での展示品解説)

日 時：①11月1日(木) ②11月14日(水) 15:00～15:45

参加人数：①31名 ②23名

スライドトーク(当館学芸員による講義室でのみどころ解説)

日 時：①11月6日(火) ②11月19日(月) 15:00～15:45

会 場：百周年記念館4階 中会議室

参加人数：①8名 ②27名

博物館見学ツアー(企画展・常設展解説と収蔵庫見学)

日 時：10月22日(月)～26日(金) 15:00～15:45

参加人数：50名(5日間計)



ポスター



講演会



ギャラリートーク



スライドトーク

まとめ 本展では、和装を身近に感じようとする展示を目指し、着物の人気投票や、ハンズ・オン「きものコーディネート」「さわってみよう着物の生地」などを取り入れた。人気投票は会期を5期(各8点)に分けて展示替えを行い、1期から4期までの上位2点を5期で再展示するという方法を取った。展示替えの着物を観るため、あるいは投票結果を確認するために会期中に複数回来館する方も多かった。

当時の雑誌に掲載されている写真に加え、本学卒業アルバムから転載した写真を多く掲示したが、雑誌に登場する最先端ファッションや理想の女性像ではない、現実の女学生の姿、服装が分かるという好評であった。

アンケートには幅広い年齢層から、着物を着てみたくなった、着物に対するイメージが変わったという意見が多く寄せられた。

以下に来館者アンケートからの抜粋を紹介する。

[一般]

*当時の着物の自由さや華やかさに圧倒され、こうした着物を身にまもっていた当時の女性たちの自信や誇り高さが伝わってくる大変素晴らしい見ごたえのある展示でした。(30代・女性)

*着物と聞くとかたいイメージを持ちがちだが、ファッションとして着物を楽しむ色や模様が自由で素敵だった。(20代・女性)

*着物の色の組み合わせなど、現代より昔の方々の方がおしゃれを楽しみ、今よりおしゃれだったのではないかと思います。(40代・女性)

*柄や素材感がよく分かる展示方法がよかった。(50代・女性)

*ルーペで見た生地のあるこれ、技術の奥深さに感動しました。

(50代・女性)

[本学学生・生徒]

*展示替があり、投票式になっていた点は、何回も来たいかなるように工夫されているなど感じました。(大学3年)

*着物の生地を実際に触って体験できたのがすごく良かったと思いました。名前や見ただけでは生地素材の感じがあまりよく分からないので、実際に触ることによってよく分かりました。(高校1年)

*服を大切に着るというのはすてきだと思った。日本史では、服の流行をくわしく学ばないが、ここではくわしく知れたので楽しかった。(高校3年)

*着物を今習っていて、こんな素敵な着物があるなんて！と感動しました。色の合わせかたもすごく参考になりました。(大学2年)

*着物ではなく絵画を見ているような気分になりました。流行によって全く違う着物の表情があることが分かり、楽しく見学できました。(大学4年)



展示室導入



人気投票(展示替え)コーナー



和装・洋装のモダンガール



ある卒業生のワードローブ



きものコーディネート

1. 展示活動

展示品目録

資料名	年代	備考
*備考欄に所蔵表記のないものは、すべて東京家政大学博物館蔵 *備考欄の数字は『河野忠代コレクション』の資料番号		
プロローグ		
①ケース		
振袖 縮緬地洋花蝶模様 (五ツ紋)	大正時代	402
丸帯 平絹地洋花菊牡丹模様	昭和時代初期	376
着物 縦縞模様銘仙	大正時代	020
昼夜帯 表：平絹地牡丹蔦模様 裏：鋸歯草花模様錦	大正から昭和時代前期	153
羽織 平絹地花唐草模様	昭和時代前期	080
着物 紋縮緬地木蓮模様	大正から昭和時代前期	033
名古屋帯 縹子地縞輪繋ぎ鋸歯模様	大正から昭和時代前期	144
単衣 ジョーゼット地芙蓉柰目模様	昭和時代初期	434
昼夜帯 表：平絹地鱗鳳凰模様 裏：縹子地	昭和時代初期	165
②ケース		
『渡邊裁縫講義 渡邊先生遺稿 普通部』再版	大正元(1912)年	渡邊滋 編
専門教育裁縫全書 『羽織袴の部 改版』 『単衣の部 改版』 『袴綿入の部 改版』 『児童洋服教科書 前編 改版』	大正14(1925)年 大正13(1924)年 大正13(1924)年 昭和3(1928)年	渡邊滋他 編 東京裁縫女学校出版部
婦人子供服精義 『第一編 コンストラクション』 『第二篇 ドラフティング及びドレッシング』	昭和6(1931)年	牛込ち糸著 渡邊女学校出版部
『カットワーク』 『バテンレース テネリフレース の作り方』 『タッチング』 『婦人洋服裁縫』	昭和11(1936)年頃	松垣静子著 松垣静子著 木暮田鶴著 岡本すみ著
『裁縫雑誌』10巻7号、13巻6号、 14巻5号、15巻8号、 16巻2号、17巻10号、 18巻10号、	大正元(1912)年、大正4(1915)年、 大正5(1916)年、大正6(1917)年、 大正8(1919)年、大正8(1919)年、 大正9(1920)年	東京裁縫女学校出版部
『裁縫と家事』24巻11号、25巻5号	大正15(1926)年、昭和2(1927)年	渡邊女学校出版部
『渡邊學園雑誌』33巻3号、36巻2号	昭和10(1935)年、昭和13(1938)年	渡邊女学校出版部
明治時代の着物と帯		
③ケース		
四ツ身 綾地風景模様 (五ツ紋)	明治時代	195
丸帯 松竹菊鶴模様錦	明治時代	127
丸帯 松竹梅鶴模様縹珍	明治時代後期	130
昼夜帯 表：平絹地分銅繋ぎ花菱模様 裏：縹子地	明治時代後期から大正時代	381
着物 縮緬地百合模様 (五ツ紋)	明治時代後期	398
第1章 晴れの日の華やぎ		
④ケース		
四ツ身 縮緬地牡丹薔薇菊南天椿模様 (五ツ紋)	大正時代	307
丸帯 鳳凰模様縹珍	大正時代	314
丸帯 菊麻葉鼓模様錦	大正時代	315
一ツ身 縮緬地御簾牡丹菊葉玉模様 (五ツ紋)	大正時代	265
振袖 縮緬地洋花模様 (三ツ紋)	大正時代	561
⑤ケース		
単衣 紹縮緬地葦鷺模様 (五ツ紋)	大正時代	525
単衣 透織地芙蓉模様 (一ツ紋)	大正から昭和時代前期	429
名古屋帯 紹地薔模	大正から昭和時代前期	138
単衣 紹地百合模様 (三ツ紋)	大正から昭和時代前期	076
名古屋帯 紹地縫取織石畳青海波模様	昭和時代初期	151
単衣 変わり織地紅葉花筏模様 (一ツ紋)	大正から昭和時代前期	044
⑥ケース		
振袖 縮緬地洋花模様 (五ツ紋)	大正時代	331
振袖 縮緬地菊牡丹御所車模様 (五ツ紋)	大正から昭和時代前期	400
着物 縮緬地薔模 (一ツ紋)	大正時代	516
着物 縮緬地菊模様 (五ツ紋)	大正から昭和時代前期	334
振袖 縮緬地花車模様 (五ツ紋)	昭和時代初期	401

資料名	年代	備考
第2章 模様あれこれ		
⑦ケース 展示替：1期 [10月18日(木)～10月26日(金)]		
単衣 笹模様御召	昭和時代前期	438
単衣 紹地笹竹模様	昭和時代前期	527
単衣 紅梅織地竹模様	昭和時代初期	531
着物 チューリップ模様銘仙	大正から昭和時代前期	015
単衣 モスリン地チューリップ模様	大正から昭和時代前期	549
単衣 紹地百合紅葉撫子模様	大正から昭和時代前期	059
単衣 紹地百合模様	大正から昭和時代前期	061
単衣 百合網目模様銘仙	昭和時代前期	437
⑦ケース 展示替：2期 [10月27日(土)～11月2日(金)]		
着物 縮緬地薔薇松鶴模様 (五ツ紋)	大正から昭和時代前期	397
単衣 杢目薔薇模様銘仙	大正から昭和時代前期	079
着物 木綿地薔薇柳模様	昭和時代初期	007
羽織 木綿地薔薇模様	大正から昭和時代前期	094
羽織 平絹地薔薇模様	昭和時代初期	550
単衣 紅梅織地薔薇模様	昭和時代前期	049
襦袢 平絹地薔薇模様	昭和時代初期	117
襦袢 縮緬地薔薇模様	昭和時代初期	110
⑦ケース 展示替：3期 [11月5日(月)～11月10日(土)]		
単衣 モスリン地縦縞蜻蛉露芝模様	昭和時代初期	548
単衣 ジョーゼット地蜻蛉煉瓦模様	大正から昭和時代前期	062
単衣 蜻蛉日輪模様銘仙	大正から昭和時代前期	066
単衣 麻地萩蜻蛉模様	昭和時代前期	546
単衣 蜻蛉模様銘仙	昭和時代前期	541
単衣 紅梅織地蜻蛉模様	昭和時代前期	047
単衣 紹地蜻蛉模様	昭和時代前期	529
単衣 格子蜻蛉雲模様銘仙	大正から昭和時代前期	065
⑦ケース 展示替：4期 [11月12日(月)～11月17日(土)]		
単衣 変わり織地縦縞模様	昭和時代前期	053
着物 縮緬地よろけ縦縞模様	昭和時代前期	417
単衣 縮緬地縦縞模様	昭和時代前期	443
単衣 紅梅織地矢羽根模様	昭和時代前期	449
着物 変わり地縦縞模様	昭和時代初期	409
着物 変わり織地矢羽根模様	昭和時代前期	418
単衣 紅梅織地矢羽根模様	大正時代	077
着物 横矢羽根模様銘仙	昭和時代初期	021
⑦ケース 展示替：5期 [11月19日(月)～11月22日(木)] *1期から4期までの人気投票1・2位を再展示		
⑧ケース		
羽織 縮緬地雪持柳模様	昭和時代前期	455
着物 縮緬地草花模様	大正から昭和時代前期	008
昼夜帯 表：浮織薔薇模様 裏：平絹地松梅東屋模様	昭和時代初期	158
羽織 変わり織地斜縞蝶模様	昭和時代初期	090
羽織 綾地薔薇模様	大正から昭和時代前期	082
⑨ケース		
名古屋帯 紹地百合模様	昭和時代初期	468
名古屋帯 平絹地薔薇模様	大正から昭和時代前期	145
名古屋帯 縹子地薔薇模様	大正から昭和時代前期	137
昼夜帯 表：モスリン地八重桜蝶模様 裏：モスリン地薔薇枝垂桜模様	大正時代	166
昼夜帯 表：モスリン地薔薇蝶模様 裏：モスリン地三枳二筋格子模様	大正から昭和時代前期	557
帯地 チューリップ模様錦	昭和時代前期	172
⑩ケース		
丸帯 紹地唐獅子模様	大正から昭和時代前期	134
丸帯 平絹地薔薇蝶模様	大正時代	375
丸帯 縹子地竹雀模様	昭和時代初期	374
丸帯 石畳七宝花菱模様錦	昭和時代初期	128
昼夜帯 表：紬地撫子模様 裏：縹子地	昭和時代初期	385
昼夜帯 表：モスリン地牡丹模様 裏：綾地横縞模様	大正時代	168

1. 展示活動

資料名	年代	備考
昼夜帯 表：平絹地欄干霞模様 裏：縹子地縦縞模様	昭和時代前期	156
昼夜帯 表：平絹地更紗模様 裏：平絹地縦縞模様	昭和時代初期	383
昼夜帯 表：モスリン地書籍風景模様 裏：蛇籠萩流水模様錦	昭和時代前期	164
昼夜帯 表：平絹地カップ模様 裏：紵地よろけ横縞薊蛇籠模様	昭和時代初期	384
昼夜帯 表：平絹地芥子模様 裏：平絹地籠目波丸花模様	昭和時代初期	155
単帯 風通織地幾何学草花模様	昭和時代前期	170
⑪ -1ケース		
『花ごろも 三井呉服店案内』	明治32(1899)年	日比翁助編集・発行
『春模様』	明治33(1900)年	日比翁助編集・発行
『みつこしタイムス』 6巻	明治41(1908)年	笠原健一編集・発行 三越呉服店
『みつこしタイムス』 11巻15号	大正2(1913)年	笠原健一編集・発行 三越呉服店
『みつこしタイムス』 12巻1号	大正3(1914)年	笠原健一編集・発行 三越呉服店
『流行』14巻4号	大正6(1917)年	高野復一編集・発行 白木屋呉服店
『白木タイムス』15巻10号	大正7(1918)年	近藤英治編集・発行 白木屋呉服店
『白木タイムス』18巻7号	大正10(1921)年	蔵本俊次郎編集・発行 白木屋呉服店
第3章 和装・洋装のモダンガール		
⑫ケース		
着物 縦縞御召	大正時代	019
昼夜帯 表：平絹地抽象模様 裏：浮織地鹿子模様	昭和時代初期	386
羽織 紋縮緬地松葉松毬模様	昭和時代初期	086
着物 変わり縦縞模様銘仙	大正時代	427
昼夜帯 表：平絹地花唐草模様 裏：縹子地	昭和時代初期	159
⑬ケース		
ワンピース・ドレス 帽子	昭和5年頃から15年頃	浅井カヨ氏蔵
ワンピース・ドレス	昭和5年頃から15年頃	浅井カヨ氏蔵
ワンピース・ドレス	昭和5年頃から15年頃	浅井カヨ氏蔵
海水着 松坂屋製	昭和5年頃から15年頃	浅井カヨ氏蔵
⑭ケース		
『ART・GOÛT・BEAUTÉ』 95号	昭和3(1928)年7月	個人蔵
『婦人グラフ』 2巻2号、2巻8号、 3巻2号、3巻4号、 4巻6号、4巻9号、 5巻2号、5巻4号	2巻：大正14(1925)年 3巻：昭和元(1926)年 4巻：昭和2(1927)年 5巻：昭和3(1928)年	3巻：東京家政大学図書館 その他：個人蔵
裁縫雛形「女兒服」◎	明治30年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「女単服」◎	明治38年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「子供洋服」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女単服」◎	明治41年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「子供洋服」◎	明治38年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「学校制服」◎	大正2年	木綿 縮尺1/2
⑮ケース		
束髪、洋髪用髪飾り	大正から昭和時代前期	
化粧具袋	大正時代	浅井カヨ氏蔵
第4章 普段着のあそび		
⑯ケース		
単衣 縮地雪輪模様	大正時代	057
単衣 紵地芭蕉模様	昭和時代前期	058
単衣 紵地縦縞舟模様	大正から昭和時代前期	060
浴衣 木綿地幾何学模様	大正から昭和時代前期	046
浴衣 木綿地縦縞薔薇模様	昭和時代初期	303
浴衣 木綿地麻葉模様	昭和時代前期	302
浴衣 木綿地破れ格子菊模様	昭和時代前期	304
着物 縹子地壺垂模様	大正時代	338
着物 紋縮緬地壺目模様	大正から昭和時代前期	339
着物 平絹地矢羽根菊模様	昭和時代初期	006

1. 展示活動

資料名	年代	備考
着物 縮緬地縦縞模様	昭和時代初期	025
単衣 交織地立涌模様	昭和時代前期	063
半幅帯 平絹地チュリップ模様	大正時代	176
⑰ケース		
着物 山道菱形模様銘仙	昭和時代初期	347
着物 壺垂模様銘仙	昭和時代初期	351
着物 破れ網代模様銘仙	昭和時代初期	023
⑱ケース		
着物 破れ麻葉模様銘仙	大正時代	350
着物 斜立涌模様銘仙	大正から昭和時代前期	424
着物 井桁模様銘仙	昭和時代初期	349
着物 格子輪繋ぎ模様銘仙	昭和時代前期	425
単衣 渦巻笹模様銘仙	昭和時代前期	439
⑲ケース		
着物 流水片輪車模様銘仙	昭和時代前期	016
着物 葡萄模様銘仙	大正から昭和時代前期	028
昼夜帯 表：浮織地檜垣菖蒲模様 裏：変わり織地震梅模様	昭和時代初期	162
⑳ケース		
『實用 織物の研究』 2巻1号～10号	昭和5・6(1930・1931)年	西村益者著 東京織物研究会
コラム展示 ある卒業生のワードローブ		
㉑ケース		
着物 紋縮緬地草花模様	昭和時代初期	
着物 紋縮緬地牡丹桔梗模様		
コート、バック 紋ビロード地牡丹鹿子模様	すべて昭和時代前期	
ショール 紋ビロード地空目模様		
単衣 紹地萩撫子女郎花模様	すべて昭和時代前期	
名古屋帯 紹地麻葉模様		
①昼夜帯 表：梅鸚鵡模様錦 裏：縮緬地唐花雪輪模様		
②袋帯 雪輪葡萄菊模様錦		
③ショール 紋ビロード地水玉模様		
④単衣 団扇風景模様銘仙		
⑤単帯 風通織地格子草花模様	すべて昭和時代前期	
⑥ショール ビロード地縞模様		
⑦単衣 変わり市松竹模様銘仙		
⑧名古屋帯 浮織地孔雀薔薇模様		
丸帯 松菊御所車模様錦	昭和14(1939)年着用	
振袖 縮緬地太鼓橋御所車模様 (五ツ紋)	昭和14(1939)年着用	
㉒ケース		
『眠りの精』 セノオ楽譜14番 ブラーム作曲 堀内敬三訳詞	大正6(1917)年再版	表紙絵 不明(表記無し) セノオ音楽出版社
『歌劇 椿姫』 セノオ楽譜53番 ヴェルディ作曲 堀内敬三訳詞	大正7(1918)年再版	表紙絵 竹久夢二 セノオ音楽出版社
『牧歌』 セノオ楽譜78番 ヴァンサン・ダンディ作曲 内藤水翟訳歌	大正6(1917)年	表紙絵 不明(表記無し) セノオ音楽出版社
『アベ・マリア』 セノオ楽譜158番 シャール・グーノ作曲 柴田柴庵訳歌	大正9(1920)年再版	表紙絵 竹久夢二 セノオ音楽出版社

1. 展示活動

常設展① 「学園の歴史と創設者」「渡辺学園裁縫雛形コレクション」「渡辺学園の歩み」

会 期 平成30年3月16日～平成31年2月16日

会 場 百周年記念館4階 第2展示室

広 報 物 ポスター(常設展①・②共通)

配布資料 「校祖渡邊辰五郎の事績」(全1頁)、「重要有形民俗文化財渡辺学園裁縫雛形コレクション」(全2頁)、「青木誠四郎著書目録 [研究書]」(全4頁)、「青木誠四郎著書目録 [教科書]」(全2頁)

展示趣旨 「学園の歴史と創設者」

本学の基礎を築いた校祖渡邊辰五郎と大学開学当初の学長青木誠四郎の業績、また二人が掲げた建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」を併せて紹介。

「渡辺学園裁縫雛形コレクション」

裁縫雛形は、明治から昭和にかけて、本学の教育課程の中で製作された衣服や生活用品等のミニチュアである。渡邊辰五郎が考案した裁縫教授法のひとつで、布地と時間が節約できる画期的な方法として好評を得た。

当館では、現在約4500点の裁縫雛形を所蔵しており、うち2290点が教科書や製作用具61点とともに、平成12年12月27日に国の重要有形民俗文化財に指定された。

当コーナーでは、和装、洋装、有職類、生活用品の裁縫雛形を約80点展示。半年(前期・後期)ごとに展示替えを行っている。

「渡辺学園の歩み」

本学「学校法人渡辺学園」は、明治14年、渡邊辰五郎が本郷区湯島の地に開設した私塾「和洋裁縫伝習所」としてはじまる。当コーナーでは、学園設立時から現在に至るまで、伝統ある本学の歩みを紹介。



学園の歴史と創設者 渡邊辰五郎



学園の歴史と創設者 青木誠四郎



渡辺学園の歩み



渡辺学園裁縫雛形コレクション



渡辺学園裁縫雛形コレクション

常設展② コレクション展示 前期「日本の食—保存と食—」／ 後期「グアテマラ民族衣装」

会 期 前期：平成30年3月16日～平成30年7月14日

後期：平成30年9月3日～平成31年2月16日

会 場 百周年記念館4階 第3展示室

広 報 物 ポスター(常設展①・②共通)

展示趣旨 前期「日本の食—保存と食—」

食べ物は時間の経過とともに腐敗する。腐敗は微生物が動物性・植物性の物質を分解し、変質させることが原因となり起こる。何の手も施さない状態のままでは腐敗が始まり、長く保存することはできない。つまり、腐敗の進行を遅らせることが、食べ物の保存につながる。

本展では腐敗の原因となる微生物の繁殖を妨げるための保存方法に注目し、少しでも長く、美味しい状態を保てるよう加工されたさまざまな食べ物に目を向け紹介した。



ポスター(前期)

後期「グアテマラ民族衣装」

中米グアテマラの民族衣装の大きな特徴は、村々によって上衣や下衣の形状や模様、色、着用方法などが異なることである。また、一つの村の衣装でも、時代や環境などの変化によって、その特徴や素材などに変化が生じている。グアテマラの民族衣装を着るインディヘナ(マヤ系先住民族)の人々が、時代の流れを衣生活の中に柔軟に取り入れる現状も紹介しながら、輝く色彩と個性豊かな民族衣装の数々を紹介した。



ポスター(後期)



日本の食—保存と食—



グアテマラ民族衣装

1. 展示活動

きせつ展示

展示場所 百周年記念館1階ロビー

展示趣旨 日本の主な年中行事を、各行事にまつわる展示物および解説パネル等で紹介する。

テーマと期間 入学祝い：平成30年4月2日～4月9日

端午の節句：平成30年4月27日～5月6日

母の日 } 平成30年5月7日～5月13日
父の日 }

七夕：平成30年7月2日～7月8日

土用の丑の日：平成30年7月9日～8月6日

重陽の節句：平成30年8月28日～9月9日

十五夜：平成30年9月11日～9月24日

酉の市：平成30年10月30日～11月26日

七五三：平成30年11月7日～11月15日

正月事始め：平成30年12月7日～12月24日

羽子板市：平成30年12月10日～12月24日

冬至：平成30年12月14日～12月24日

正月：平成31年1月8日

小正月：平成31年1月9日～1月15日

節分 } 平成31年1月25日～2月11日
初午 }
針供養 }

ひな祭り：平成31年2月25日～3月3日

卒業祝い：平成31年3月12日～3月18日

花見：平成31年3月19日～4月2日



入学祝い



母の日・父の日



土用の丑の日



重陽の節句

2. 講座・講演

博物館講座

当館館長による講座「アート・ゾーンとしての上野・谷根千」

会 場 百周年記念館4階 中会議室

日 時 ①12月1日(土) ②12月15日(土) 全2回

講 師 手嶋尚人(本学造形表現学科教授・当館館長)

参加人数 ①34名 ②36名

概 要 2015年より開講している当館館長による講座。今年4月に就任した手嶋尚人館長の専門は住環境デザイン。東京芸術大学大学院生時代より、台東区谷中界隈のまちづくりに携わり、谷中に暮らしつつ現在もまちづくりの活動を続けている。

今回の講座では、専門分野である建築やまちづくりの視点から、「アート・ゾーンとしての上野・谷根千」と題し、学生時代から慣れ親しんできた上野と谷中・根津・千駄木エリアの魅力を語った。

①上野 編

数多くの博物館・美術館が集まり、日本屈指のアート・スポットとして知られる上野。芸術文化が生まれ育つ地、上野の成り立ちや主要な博物館・美術館の特に建築的な特徴や魅力について解説した。

②谷中・根津・千駄木 編

昭和レトロな風情を残す谷中・根津・千駄木エリアには、現在30を超えるギャラリーがある。上野の「官」のアートに対し、「民」のアートがまちに根付き発展してきた経緯を、まちづくりとの関係で紹介した。

ま と め 博物館・美術館の愛好家になじみ深い上野や、近年観光スポットとして注目を集める谷根千エリアへの関心は高く、幅広い層の参加者があった。建築という、当館の展示で取り上げる機会の少ないテーマの講座とあって、初めて当館を利用する方が多く見受けられた。ある建物について、造形的な特徴や歴史的な意味を踏まえつつ、その建物が地域の中でどのように活かされているかが話題の中心になった。質疑応答では、「観光客と地域住民との関係」等にご話がおよび、建物と人や地域との関わりを考える場となった。



ポスター



古地図による解説



スライドによる解説

3. 利用状況

各月の開館日数と入館者数

平成29年度 入館者数集計

企画展「まじない いろいろ・いろ・かたち」 平成29年 5月18日～ 6月21日
 特別企画展「辰五郎と滋の見た明治の衣生活大転換」 平成29年10月19日～11月24日

月	企画展						常設展					
	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
4	-	-	-	-	-	-	165	11	88	14	278	25
5	316	61	620	157	1,154	12	140	30	386	99	655	23
6	881	90	939	108	2,018	18	412	108	462	54	1,036	26
7	-	-	-	-	-	-	127	3	45	8	183	15
8	-	-	-	-	-	-	93	0	4	2	99	2
9	-	-	-	-	-	-	32	5	17	1	55	25
10	628	24	130	3	785	11	340	4	31	7	382	28
11	945	73	763	215	1,996	20	632	27	214	80	953	25
12	-	-	-	-	-	-	133	4	28	8	173	19
1	-	-	-	-	-	-	61	6	11	1	79	15
2	-	-	-	-	-	-	45	2	2	5	54	9
3	-	-	-	-	-	-	222	4	4	2	292	14
合計	2,770	248	2,452	483	5,953	61	2,402	204	1,292	281	4,239	226

	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
企画展計	2,770	248	2,452	483	5,953	61
「まじない いろいろ・いろ・かたち」	1,197	151	1,559	265	3,172	30
「辰五郎と滋の見た明治の衣生活大転換」	1,573	97	893	218	2,781	31
常設展計	2,462	204	1,292	281	4,239	226
入館者合計	5,232	452	3,744	764	10,192	-

平成30年度 入館者数集計

企画展「こどもの衣・食・遊一日々のゆしみと祝いー」 平成30年 5月17日～ 6月20日
 特別企画展「和装モダン」 平成30年10月18日～11月22日

平成31年 1月末現在

月	企画展						常設展					
	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
4	-	-	-	-	-	-	143	12	193	4	352	24
5	389	75	617	85	1,166	13	237	21	597	61	916	24
6	1,007	90	974	314	2,385	18	583	38	781	185	1,587	27
7	-	-	-	-	-	-	109	4	32	6	151	13
8	-	-	-	-	-	-	57	0	0	3	60	4
9	-	-	-	-	-	-	78	4	17	1	100	22
10	1,495	74	452	187	2,208	12	706	17	297	17	1,037	26
11	1,487	87	663	39	2,276	18	546	14	119	13	692	25
12	-	-	-	-	-	-	167	8	7	2	184	18
1	-	-	-	-	-	-	37	1	41	0	79	16
合計	4,378	326	2,706	625	8,035	61	2,663	119	2,084	292	5,158	199

	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
企画展合計	4,378	326	2,706	625	8,035	61
「こどもの衣・食・遊一日々のゆしみと祝いー」	1,396	165	1,591	399	3,551	31
「和装モダン」	2,982	161	1,115	226	4,484	30
常設展合計	2,663	119	2,084	292	5,158	199
入館者合計	7,041	445	4,790	917	13,193	-

授業・団体見学対応

授業対応：自校史教育

パワーポイントを利用し、校祖渡邊辰五郎の生涯や裁縫雛形の概要を解説。
その後、常設展・企画展見学。

月日	学科・科(学年)	授業名	人数
5月18日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	66
5月18日	教福(1)	教育学研究法	46
5月25日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	70
5月25日	教福(1)	教育学研究法	43
6月 1日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	70
6月 8日	英コミ(1)	基礎ゼミ	53
6月 9日	附属中学(1)		73
6月12日	英コミ(1)	基礎ゼミ	106
6月20日	保育(短1)	総合演習	135

授業対応：企画展展示解説

企画展示室、または講義室において、企画展の展示品や展示環境などについて解説。

月日	学科・科(学年)	授業名	人数
5月22日	教福(2~4)	文化人類学	30
5月22日	附属高校(3)	食物基礎	12
5月23日	服美(4)	ゼミナール I	25
5月24日	全学(2~4)	食の文化	141
5月30日	児学(3)	ゼミナール	9
5月30日	児学(1)	総合演習	9
5月30日	附属高校(1)	世界史A	75
5月31日	附属高校(3)	保育	28
6月 1日	附属高校(3)	保育	27
6月 2日	附属中学(2)	道徳・HR	74
6月 4日	附属高校(2)	世界史B	12
6月 4日	附属高校(1)	世界史A	52
6月 6日	栄養(短2)	栄養士実習	68
6月 7日	附属高校(1)	世界史A	39
6月 8日	附属高校(3)	食物基礎	16
6月15日	児学(2)	子どものことばと文化	120
6月16日	教福(2)	博物館教育論	23
6月18日	表現(4)	博物館展示論	61
7月 3日	児教(1)	基礎ゼミナール I	7
10月22日	服美(3)	博物館実習	40
10月22日	附属高校(1)	世界史A	52
10月23日	附属高校(2)	世界史B	12
10月24日	附属高校(1)	世界史A	74
10月30日	表現(4)	博物館実習	59
10月31日	教福(1)	博物館概論	47
10月31日	服美(4)	ゼミナール II	24
11月 1日	附属高校(1)	世界史A	38
11月 9日	表現(4)	博物館教育論	46
11月12日	服美(1)	和服論	178
11月19日	服美(3・4)	博物館展示論	61
11月19日	服美(4)	博物館教育論	28

団体対応

本学校祖 渡邊辰五郎の出生地である千葉県長南町の長南町立長南小学校6年生の児童54名と教員3名が「長南町出身『渡邊辰五郎』に係る校外学習」の一環で来館。

パワーポイントを利用し、校祖渡邊辰五郎の生涯や裁縫雛形の概要を解説。
その後、常設展と構内を見学。

月日	団体名・来館者	人数
12月5日	長南町立長南小学校 6年児童・教員	57



長南小学校 対応

4. 寄贈資料・図書

平成30年度受入資料・図書〈平成30年4月1日～平成31年1月31日〉

資料

寄贈者	品名	数量
石山 千鶴子	着物	2
丹下 和子	羽織	3
(匿名希望)	サロン	1
能澤 慧子	すごろく	1
滝澤 晶子	裁縫雛形	34
Judits C. Neher	一つ身	1
宮 喜美子	裁縫雛形	2
霜田 紀子	皿	1
藤田 真理子	ドレス	1
長嶺 千津子	裁縫雛形 他	47
福岡 祥代	襦袢・半衿	9
栗林 瑠美	着物	2
西角井 錦子	羽織・ベスト 他	5

(敬称略)

図書

寄贈者	品名	数量
日吉 洋子	裕綿入の部 (専門教育裁縫全書)	1
別所 光子	輓近の心理学 他	7
清水 孝	昭和十五年三月卒業記念	1
井上 好	羽織袴の部 (専門教育裁縫全書) 他	3
宮 喜美子	裁縫品登録修正簿 他	3
西角井 錦子	写真	1

(敬称略)

5. 資料特別利用 6. 展示・講座等への協力 7. 資料保存・修復

5. 資料等特別利用〈平成30年4月1日～平成31年1月31日〉

	申請者	種別	資料名	展示名・出版物名等	展示期間・発行日
学外	女子美術大学歴史資料室	写真使用	改良服女物・改良袴	企画展「女子美の衣服教育」	5月23日～8月3日
	島根県立石見美術館	資料展示 写真使用	浴衣 5点	企画展「ゆかた 浴衣 YUKATA」	6月25日～9月21日
	山口市歴史民俗資料館	熟覧 写真撮影	裁縫雛形 5点	企画展「よそおいの明治維新」調査	7月13日
	神奈川県立地球市民かながわプラザ	映像上映	「イカット製作工程・パティック製作工程」	企画展「彩りの島々インドネシア-魅せる染織と人々の暮らし」	7月14日～9月24日
	かぐやライゼビューロー	写真撮影 写真使用	常設展展示風景	訪日外国人向け SNS	9月11日
	パナソニック汐留ミュージアム	熟覧 資料展示 写真使用	女兒服 2点	企画展「子どものための建築と空間」	1月12日～3月24日
	はたや記念館ゆめおーれ勝山	写真使用	企画展展示風景他 4点	冊子『はたやブックレット8 海を渡った福井の羽二重』	3月末日
学内	東京家政大学図書館	資料展示	唱歌集 4点	連続講座「Kasei no Wa」	6月25日
	東京家政大学服飾美術学科	熟覧 写真撮影	百徳着物	卒業研究	7月4日
	東京家政大学服飾美術学科 杉野 公子	熟覧 写真撮影 写真使用	裁縫雛形 3点	調査研究 ※調査報告は p.23に掲載	8月22日～12月27日
	東京家政大学児童教育学科 林 嘉瑞子	写真撮影 写真使用	常設展展示風景	「東京家政大学カルタ」製作	12月1日
	アドミッションセンター	写真撮影 写真使用	『裁縫雑誌』2点	2020年大学紹介パンフレット	12月12日

そのほか個人による調査研究を目的とする閲覧・撮影等の利用が1件あった。

6. 展示・講座等への協力

	日程	機関	内容	派遣者
学外	6月13日	すみだ女性センター	「すずかけ大学」講師	太田 八重美
	11月1日、11月2日	島根県立石見博物館	舞踊図屏風等作品調査および衣装取扱い研修	三友 晶子
学内	7月12日	東京家政大学共通教育推進室	共通教育科目「本学の創立と見学の精神」ゲストスピーカー	太田 八重美
	7月21日	地域連携推進センター	子ども大学さやま・いるま学習プログラム 「博物館・学芸員について+博物館見学」	高橋 佐貴子
	11月6日、12月4日	東京家政大学家政学部服飾美術学科	「民族服飾論」ゲストスピーカー	高橋 佐貴子 三友 晶子

7. 資料保存・修復

資料保存のための環境整備(温湿度管理、虫菌害対策等)として、収蔵庫の清掃、燻蒸、昆虫調査等に取り組んでいる。
また、損傷や劣化の激しい資料については、必要に応じて安定化処理や修復を行う。

資料保存

日程	内容
毎月1日	収蔵庫清掃
5月10日～24日	昆虫調査・同定分析
8月7日	収蔵庫大掃除
10月11～25日	昆虫調査・同定分析
12月13日	収蔵庫大掃除
2月15日	収蔵庫防虫剤入替

資料修復

今年度は実施なし

8. 博物館実習

平成30年度 博物館実習生の受入

学科別の受入人数

服美	表現	教福	合計
24	38	4	66名

以下の3つ実習・課題を履修・提出し、実習が終了する。

1. 実務実習① 平成30年4月23日(月)～6月27日(水)のうちの連続3日間(月～水)
実務実習② 平成30年9月4日(火)～7日(金)のうち3日間
2. 見学実習
平成30年7月1日(日) 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)
3. 課題提出(全6課題)
レポート① 春の企画展「こどもの衣・食・遊—日々の愉しみと祝い—」
レポート② 秋の特別企画展「和装モダン」
レポート③ 常設展(※前期・後期とも見学し提出)
レポート④ 博物館開催イベント
レポート⑤ 見学実習
実習ノート

実習内容

実務実習①

[1日目：当館の活動]

- ①博物館活動について、展示室の清掃、展示室の環境とその管理
- ②収蔵庫見学：当館の資料について、収蔵庫内の環境と管理について
- ③資料の受け入れ概要
- ④企画展・常設展の運営・過去の実績について
- ⑤裁縫雛形について

[2日目：資料の知識と取扱い（和装）]

- ①長着の裁ち方と柄合わせについて
- ②和服の種類と特徴
- ③和服地の染織について
- ④和服のたたみ方：本だたみ、夜着だたみ、羽織、コート・長襦袢、帯、袴
- ⑤着物・帯の種類と着用場所との関係

[3日目：資料の知識と取扱い（美術工芸品）]

- ①美術工芸品の取り扱い方：
取扱いの説明、注意、
取り扱い方の実践（掛軸、卷子、屏風、仏像）

②美術工芸品の調査法：

作品・資料調査に関する説明

調査の実践(主に掛け軸、仏像を対象)

③作品、資料の保存・修復：

保存・修復に関する説明

修復の実践(和綴じ)

実務実習②

[展示実習 (和装)]

①衣桁、撞木、T字を用いた展示

②マネキンを用いた展示

[展示実習 (美術工芸品)]

①作品・資料の展示方法

②絵画、彫刻、工芸品を用いた展示作業：

キャプション、解説文作り

自己担当部分に関する簡単な説明

自己評価

[写実実習]

①デジタルカメラの操作と写真の基礎

②博物館資料を撮影する際の注意点

③平面資料・立体資料の撮影



展示実習 (和装)



展示実習 (美術工芸品)



写実実習

9. 広報・普及活動

テレビ放送

常設展「保存と食」紹介	ケーブルテレビ (J:COM)	デイリーニュース
東京家政大学博物館紹介	BS-TBS テレビ	報道1930 「1930文化情報部」

スタンプラリーの実施

企画展・常設展の入館者にスタンプカードを配付

スタンプを4つ集めた方にミュージアムグッズをプレゼント。

有効期限なし

ミュージアムグッズ：ステーションナリーセット

(手ぬぐい、ブックカバー、棗、一筆箋、シール) 3種

トートバック 6種



ミュージアムグッズの一例

10. 東京家政大学博物館友の会(博友会)

①会員数 68名

②会報 年1回発行 6月

③見学会 春の見学会・総会

6月16日(土)

「笠間日動美術館」「春風萬里荘」

博友会総会

秋の見学会・懇親会

11月10日(土)

東京家政大学博物館

特別企画展「和装モダン」を学芸員の

解説つきで見学後、学内食堂で懇親会

11. 博物館運営委員

任期 平成30年4月1日～平成32年3月31日

手嶋 尚人	博物館館長、委員長
太田 洋	図書館館長
保坂 克二	法人
高野 貴子	児童学科
鈴木 彬子	保育科
家田 晴行	児童教育学科
林 あつみ	栄養学科
小西 康子	栄養科
杉野 公子	服飾美術学科
藤森 文啓	環境教育学科
曾根 博美	造形表現学科
ロバート・j・ロウ	英語コミュニケーション学科
井上 俊哉	心理カウンセリング学科
井森 澄江	教育福祉学科
伊藤 仁	附属中学校・高等学校
石川 由美	博物館
高橋 佐貴子	博物館

12. 博物館職員

博物館館長	手嶋 尚人
主 査	石川 由美
主任・学芸員	高橋 佐貴子
学芸員	三友 晶子
専門職員	鈴木 桃子
学芸員(嘱託)	関 智子
学芸員(嘱託)	鈴木 理子
学芸員(嘱託)	高橋 真生
短期間等嘱託	太田 八重美

調查研究報告

東京家政大学博物館の収蔵資料を中心とした調査および研究に関して、報告する。

レプリカ製作を通してみる渡辺学園の洋裁教育について

杉野公子・山田民子

Investigating Dressmaking Education in Watanaba-Gakuen through Replica Making

Kimiko Sugino・Tamiko Yamada

1. はじめに

図1に示す女児服（裏付きワンピースドレス）の裁縫雛形（東京家政大学博物館 文化財番号：2-ロ-87、以下、「裁縫雛形A」とする）は、本学博物館に寄贈された資料の中でも古い年代のものである。明治30年（1897）に洋裁の課題として製作された裁縫雛形Aは、重要有形民俗文化財に指定されており、すでに一定の調査（資料名、大きさ、使用者、材質、仕立て方、略図など）が行なわれている¹⁾。しかし、裁縫雛形Aの製図と縫製方法は渡邊辰五郎著の教科書等には掲載されておらず、製図や詳しい縫製方法については報告されていない²⁾。本研究では、裁縫雛形Aのレプリカ製作を通し、当時の女児服の製図や縫製方法を明らかにするとともに、当時の洋裁教育についても考察する。

2. 構造の調査方法

レプリカ製作には、非破壊法による以下の①～⑤の方法を用いて裁縫雛形Aの素材、製図、縫製方法に関する調査、検討を行なった。

- ①視覚（表面上の観察）
- ②触覚（手袋をし、指先の感覚だけで構造を把握する）
- ③可視光による透過法（透かして見る）
- ④物性調査（表布の密度・厚さ）
- ⑤トワルの検討（計測・製図を含む）

3. 構造の調査・検討の結果

3-1. 視覚・触覚・透過法による結果

視覚・触覚・透過法により、裁縫雛形A（オリジナル作品）について下記の①～⑫が分かった。

- ①ワンピースドレスのデザインは、衿ぐりと袖口にボビンレースが付き、胸元にはシャーリング、袖は大きなパフスリーブである。スカートの裾には3本のタックがあり、ウエスト部分にはギャザーが寄せられている。後ろあきで、左後ろ身頃に持ち出しがある。ボタンやホック等の留め具はなかった。
- ②表布については白色の綿と思われる平織の布が用いられ、前後の身頃部分には寒冷紗が裏打ちされていた。

- ③衿ぐりと袖口のレースにはボビンレースが用いられ、袖口の刺繍にはフェザー・ステッチが施されていた。
- ④オリジナル作品の衿ぐりの始末には、曲線に対応できるバイアステープが用いられていたが、表身頃につれ皺が認められた。
- ⑤身頃の裾の始末にはストレートテープが用いられていた。
- ⑥身頃と袖の縫製（袖付け）は袖側から半返し縫いで縫われており、袖山の丸みをつぶさない縫製方法であった。
- ⑦スカートの裾の部分のタックはしつけの後にミシンがけを行なっているが、しつけは取り外れてはいない。
- ⑧オリジナル作品のスカート布の裾には「耳」が用いられていたことから、スカートはヨコ地で裁断されていたことが分かった。
- ⑨スカートは完成した身頃に縫い付けられているだけであったため、スカート裾のタック同様に、こどもの成長に合わせて丈を伸ばすことができるようになっていた。
- ⑩オリジナル作品の衿のレースのタック、袖付け位置、スカートの縫い付け位置には左右差が認められた。
- ⑪完成した作品の右前スカートには製作者の印（平野）が押されていた。
- ⑫縫製に用いられた糸は3種類あった。殆どの縫製は細めの糸（およそ50番位の太さ）で行なわれていた。袖山・スカート布のぐし縫いと身頃にスカートを縫い付ける糸のみ太い糸（およそ30番位の太さ）が使用されていた。どちらの糸も光沢がなく、経年劣化による糸の表面の毛羽立ちの様子から綿糸と判断した。フェザー・ステッチの糸は太く光沢があったことから絹糸30番と判断した。



図1 裁縫雛形A（オリジナル作品）

3-2. 物性調査による結果

洋服のレプリカ製作にとって布は仕上がりに大きく影響を及ぼす。特に裁縫雛形Aは、胸元のシャーリング、袖山とスカートのウエスト部分のギャザーがあるため、その復元には、作品に用いられた表布に近い布でなければ、同様の雰囲気のスーパードレスを再現することはできない。本来であれば、表布の密度・厚さ・目付・糸の太さ・剛軟度を調査するべきところであるが非破壊法を用いるため、本研究では密度と厚さについてのみ調査を行なった(表1)。

- ①オリジナル作品のスカートの表布の裾には「耳」が用いられていたことから、スカートはヨコ地で裁断されていたことが分かった。密度の調査結果から、身頃・袖については、タテ地で裁断されていることが分かった。
- ②オリジナル作品に用いられた表布の厚さには、ばらつきがあった。その範囲は0.21~0.25mmで、10回の計測の平均は約0.23mmであった。

以上の結果を基に現在販売されている布からオリジナル作品に最も近い綿ブロード(表2)を採択した。

3-3. トワルの検討(製図について)

裁縫雛形Aの計測・製図をした。天竺やレプリカに使用する表布等で実際にトワルを組み立て、シルエットや胸元のシャーリングの倍率等を検討し、製図を完成させた(図2)。なお、当時の製図は縫い代込みの製図になっていたため³⁾、出来上がり線(実際に縫われる線など)を破線で示した。当時の裁縫雛形には鯨尺・雛形尺⁴⁾が使用されていたが、本稿では長さの単位をcmとした。

4. レプリカ用材料について

前章の結果に基づき、レプリカ製作に使用する材料を以下の通りとした。市場調査を行なった結果、手編みのボビンレースは販売されていなかったため、現在販売されているレースの中からボビンレースの雰囲気に似たトーションレース(機械編み)を用いることとした。

- ・表布…ブロード(綿100%)
- ・裏布…寒冷紗(綿100%)
- ・レース…(トーションレース、綿100%)
- ・糸…①ミシン糸 #50(綿100%、白)
②手縫い糸 #30(綿100%、白)
③手縫い糸 #30(絹100%、黄緑色)

5. レプリカの製作について

製作の全工程について、オリジナル作品の調査・検討結果に基づき、可能な限り忠実に再現した。

表1 オリジナル作品の表布について

組織		平織
密度(本/cm)	タテ	31
	ヨコ	34
厚さ(mm)		0.23

表2 レプリカの表布について

組織		平織
密度(本/cm)	タテ	55
	ヨコ	29
厚さ(mm)		0.23

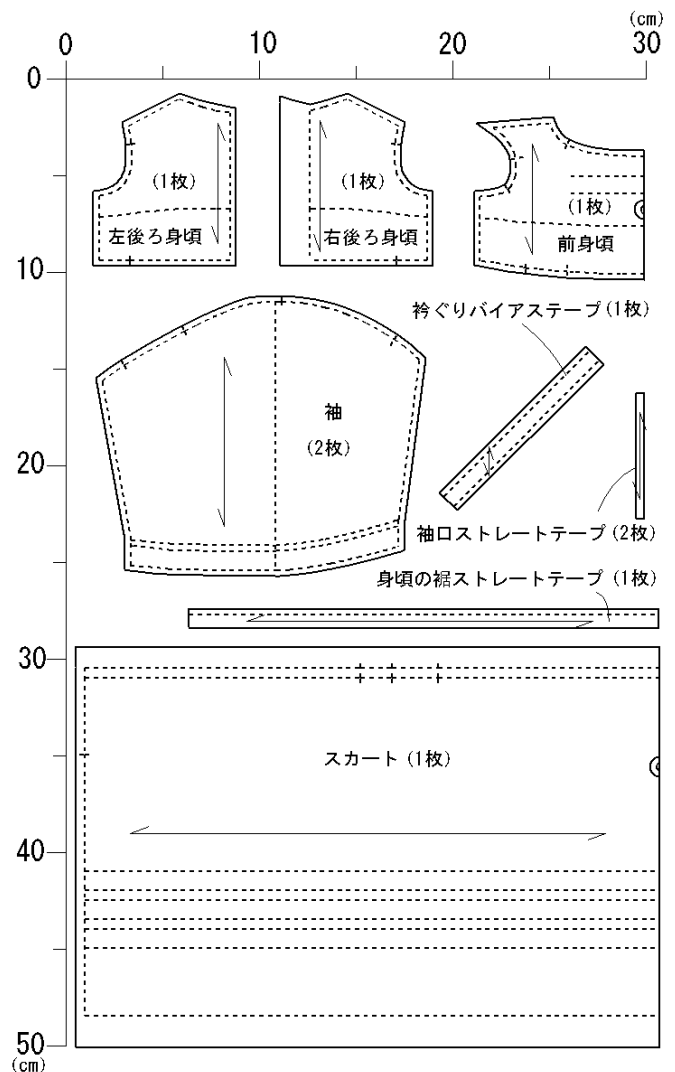


図2 裁縫雛形A 製図

表身頃の衿ぐりのつれ皺は、衿ぐりの縫い代に切り込みが入っていないこと、縫製前にバイアステープをカーブ状にアイロン等で形を整えなかったことが原因であると考えた。この時代の洋裁は和裁を基本とした縫製方法である⁵⁾。和裁では、衿ぐりの縫い代に細かく切り込みを入れない、バイアステープで縫い代などをくるむ縫製がないため⁶⁾、バイアステープの扱いは不慣れであった可能性も考えられる。レプリカ製作においては、オリジナル作品に準じて、衿ぐりの縫い代に切り込みを入れない、バイアステープに形付けは行なわないこととした。

オリジナル作品は学生による縫製のため、衿のレースのタック、袖・スカートの付け位置に左右差ができてしまったと考える。レプリカはオリジナル作品同様に左右差のある状態で製作を行なった。図2に示した製図は、オリジナル作品の製作者による他の裁縫雛形作品（文化財番号：2-ロ-88）についても比較・検討した結果をふまえた、左右差のない製図を示している。

なお、当時の印入れにはヘラが用いられていたが⁷⁾、レプリカ製作では、正確に復元するために型紙を作成し、チャコペーパーを用いて印入れを行なった。また、オリジナル作品は白色の布・レース・糸を使用しているが、縫製工程を分かりやすくするために、写真は必要に応じて色付きの布・レース・糸を使用することとした。

6. 縫製順序

6-1. 前身頃の縫製

- ①表布にぐし縫いをする。ぐし縫いは、0.1cm間隔をあけ、折り返して続けてぐし縫いを行なう（図3）。
- ②ぐし縫いを出来上がり寸法に縮める（シャーリング）。
- ③裏布の中心線を縫い、縫い代をアイロンで割る（図4）。
- ④表布と裏布を外表になるように合わせる。
- ⑤表布と裏布の縫い代を並縫いで縫い留める。
- ⑥肩線・脇線の縫い代をかがる（図5）。

6-2. 左後ろ身頃の縫製

- ①表布・裏布共に打ち合い先で縫い代を折り返し、外表に合わせる。
- ②表布と裏布の縫い代を並縫いで縫い留める。
- ③肩線・脇線の縫い代をかがる（図6）。

6-3. 右後ろ身頃の縫製

- ①表布・裏布（打ち合い先に縫い代はない）を外表に合わせる。
- ②表布と裏布の縫い代を並縫いで縫い留める。
- ③肩線・脇線の縫い代をかがる。
- ④表布の打ち合い先の縫い代を三つ折りにし、たてまつり（図6）。



図3 前身頃の表布のぐし縫いの縫製



図4 前身頃の裏布の中心線の縫製



図5 前身頃の縫製

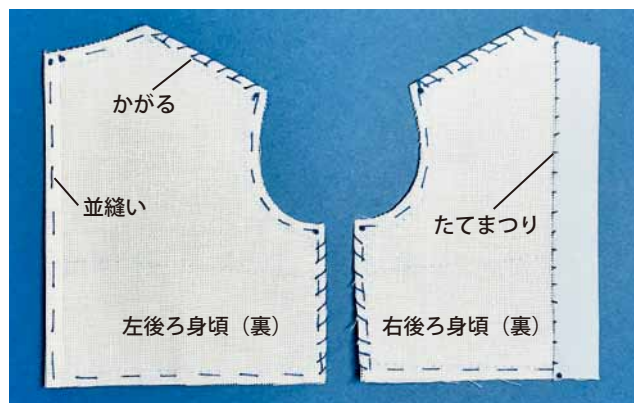


図6 後ろ身頃の縫製

6-4. 身頃の肩線の縫製

- ①前身頃と後ろ身頃の肩線を半返し縫いで縫う。
- ②縫い代をアイロンで割る。
- ③つながりの悪い縫い代を切る (図7)。

6-5. 衿 (レース) の縫製

- ①衿ぐりのレースを出来上がり寸法になるよう、タックを4本取り、仮留めをする⁸⁾。なお、レースの切り端の始末は行なっておらず、裏側へ折り返しているだけであった (図8)。
- ②身頃の衿ぐり線にレースを仮留めする⁹⁾。
- ③バイアステープを並縫いで縫う (図9)。
- ④バイアステープを身頃 (裏) 側に返す。
- ⑤縫い代を折り返し、たてまつりでまつ (図10)。

6-6. 身頃の脇線の縫製

- ①脇線を半返し縫いで縫う。
- ②縫い代をアイロンで割る。

6-7. 身頃の裾の縫製

- ①身頃と表布の耳を利用したストレートテープを中表に合わせ、並縫いで縫う (図11)。
- ②ストレートテープを身頃 (裏) 側に返す。
- ③ストレートテープを斜めまつりでまつ (図12)。

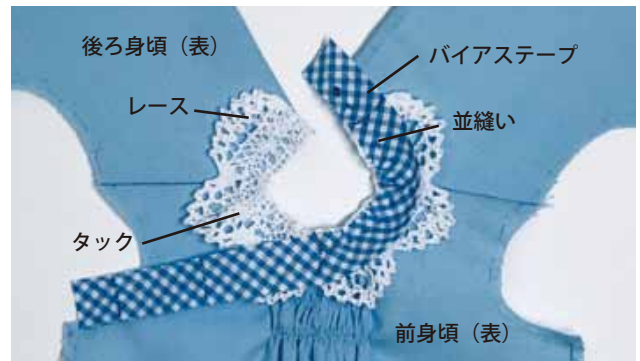


図9 衿 (レース) とバイアステープの縫製

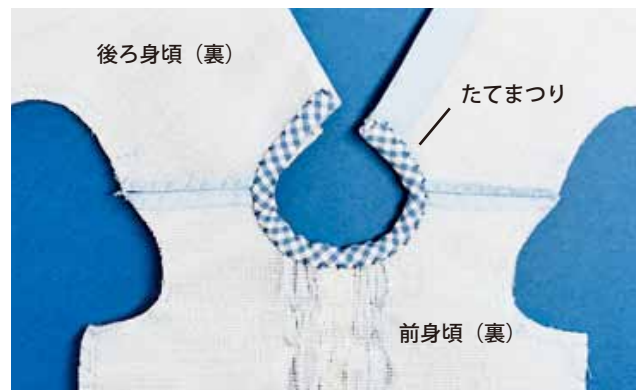


図10 衿ぐりのバイアステープの始末

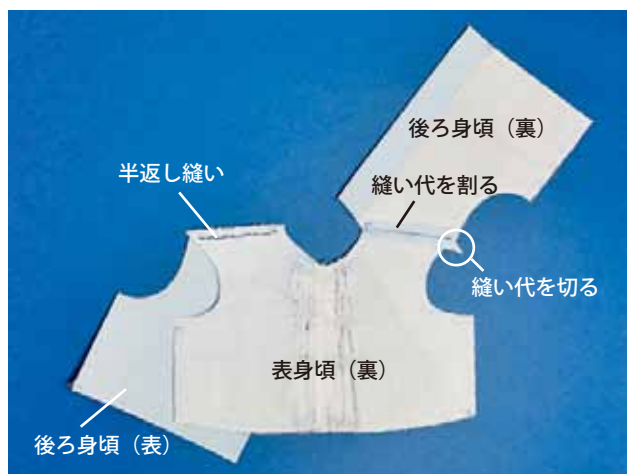


図7 肩線の縫製

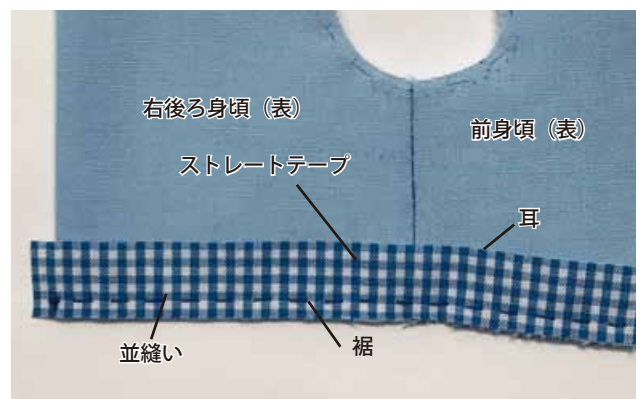


図11 身頃の裾とストレートテープの縫製



図8 衿用レースの始末

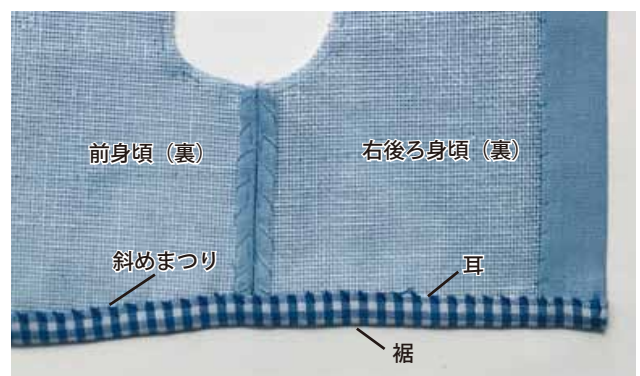


図12 身頃の裾とストレートテープの始末

6-8. 袖の縫製

- ①袖山にぐし縫いをする（糸：綿糸30番）。
- ②袖口に2本のぐし縫いをする。
- ③袖口の縫い代を出来上がり線で折り、アイロンをかける。
- ④袖口にレース（切り端の始末は行っていない）を合わせ、本返し縫いで縫い付ける（図13）。
- ⑤袖口のギャザーを出来上がり寸法に縮める。
- ⑥表布の耳を利用したストレートテープを仮留めする。
- ⑦袖口のストレートテープに刺繍（フェザー・ステッチ）をしながら袖布に縫い付ける（糸：絹糸30番）（図14）。
- ⑧袖下線を半返し縫いで縫う。
- ⑨縫い代を2枚一緒にかがる（図15）。
- ⑩袖を表に返す。

6-9. 身頃と袖の縫製

- ①袖山のぐし縫いを出来上がり寸法に縮める。
- ②合印を合わせ、袖側から半返し縫いで縫う。
縫い代を2枚一緒にかがる（図16）。

6-10. スカートの縫製

- ①後ろ中心線を半返し縫いで、あき止まりから裾まで縫う。
（オリジナル作品の縫い代はかがられていなかった）
- ②縫い代をアイロンで割る。
- ③あきの部分の縫い代を三つ折りにし、たてまつりでまつる（図17）。
- ④ウエストの縫い代を折り返し、アイロンをかける。
- ⑤2枚一緒にぐし縫いをする（糸：綿糸30番）（図18）。
- ⑥裾のタックにしつけをし、ミシンで縫う（図19）。
- ⑦裾を斜めまつりでまつる（図20）。

6-11. 身頃とスカートの縫製

- ①身頃にスカートを穿かせるせむぎに合わせる。
- ②合印を合わせ、スカートのギャザーがある部分は半返し縫い、ギャザーがない部分は並縫いで縫い付ける（綿糸：30番）（図21）。

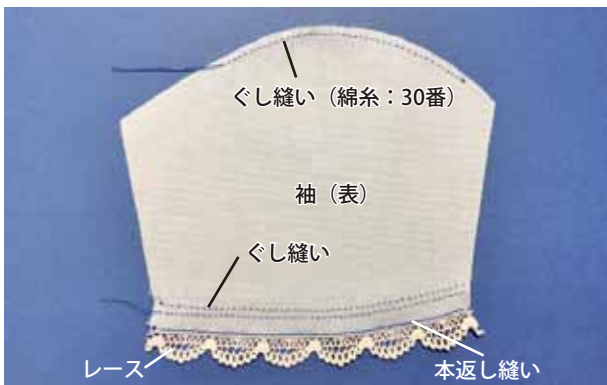


図13 袖のぐし縫いとレースの縫製

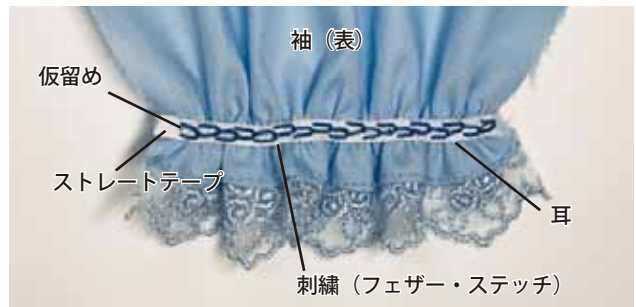


図14 袖口テープの刺繍



図15 袖下線の縫製



図16 身頃と袖の縫製

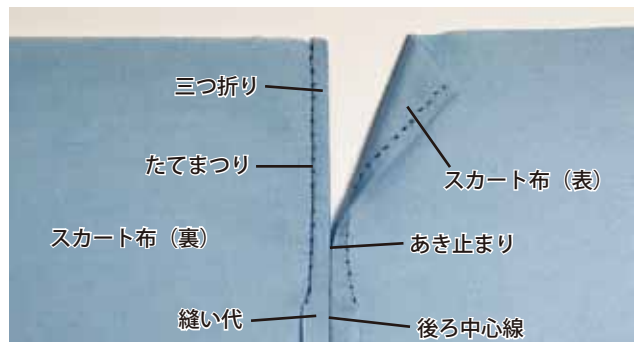


図17 スカートのあきの始末

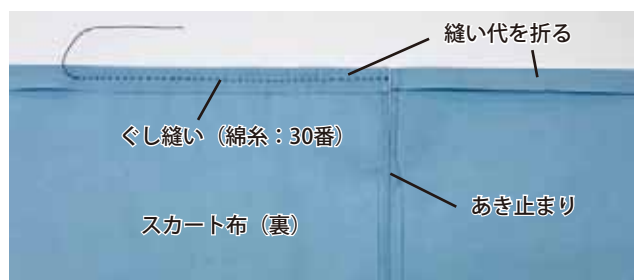


図18 スカートのウエスト部分のぐし縫いの縫製

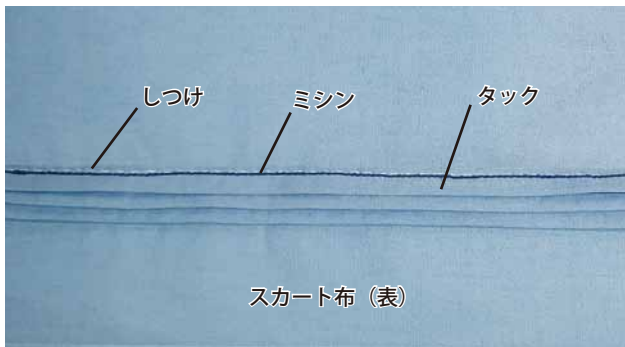


図19 スカートのタックの縫製

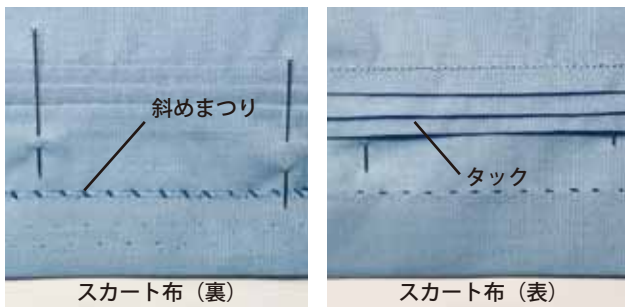


図20 スカートの裾の始末



図21 身頃とスカートの縫製

6-12. 裁縫雛形Aの完成

完成した作品のスカート部分に製作者の印を押す。



図22 裁縫雛形A レプリカ

7. まとめ

裁縫雛形Aは、明治30年（1897）、本学の前身である東京裁縫女学校の洋裁の課題の一つであった。当時の洋裁は和裁の影響を強く受けた縫製方法であることが知られているが、レプリカ製作を通して分かったことは、小さな裁縫雛形に多くの洋裁の技術が集約されていることであった。縫い代を例に挙げると、①布の耳を利用する、②糸でかがる、③バイアステープでくるむ、④ストレートテープでくるむ、というように4種類も一度に学ぶことができる。装飾についても同様である。また、身頃と袖の縫製方法から、和裁の直線的な縫製方法から洋裁の立体的、曲線的な縫製方法についても指導されていることが分かった。これらを勘案すると、明治30年（1897）における本学の洋裁教育は、当時においては大変高度かつ総合的なものであったと推測できた。

高度な教育を支えるのは教員の努力によるものであろう。渡邊辰五郎の洋裁教育に対する理念を受け継ぎ、本学独自の洋裁教育の教材開発にさらに努めてまいりたい。

謝辞

研究・発表の機会を与えてくださった本学博物館長 手嶋尚人教授に、この場をお借りして深謝申し上げます。

註

- 1) 東京家政大学博物館『重要有形民俗文化財 渡辺学園裁縫雛形コレクション・下巻』2001 p.553
- 2) 三友晶子「裁縫雛形にみる子供服の洋装化の過程」『東京家政大学博物館紀要』第14集 2009 pp.167-185
- 3) 山田民子、寺田恭子、柏原智恵子、富澤亜里沙「明治時代の水着の復元を通してみた校祖・渡邊辰五郎の洋装教育」『東京家政大学博物館紀要』第16集 2011 pp.83-95
- 4) 註2に同じ
- 5) 山田民子、寺田恭子、富澤亜里沙、澤野文香「子供服洋装化の導入と改良服に求められた機能性との関係—改良服について—」『東京家政大学博物館紀要』第18集 2013 pp.71-92
- 6) 東京家政大学・被服平面構成研究室 藤本やす、高月智志子、神田和子、斎藤トシ、渡辺キヨミ『被服平面構成』衣生活研究会 1986 p.26, 45
- 7) 渡邊辰五郎『普通裁縫教授書 上巻』東京裁縫女学校出版部 1897 p.11
- 8・9) オリジナル作品からは判断できなかった。丁寧な縫製方法を記載した。

図の出典

図1 オリジナル作品、筆者（杉野）撮影

図2～22 レプリカ、筆者（杉野）作図・製作・撮影

東京家政大学博物館年報
平成30年度

2019年3月1日 発行

発 行 東京家政大学博物館
東京都板橋区加賀1-18-1
Tel 03-3961-2918
Fax 03-3961-5246

印 刷 株式会社 白峰社
東京都豊島区東池袋5-49-6
Tel 03-3983-2312